

日 時	令和2年7月19日(日曜日) (14:05) ~ (16:00)
場 所	大庄北生涯学習プラザ1階ミニホール
資 料	「第2回大庄《未来につなぐ》まちづくりワークショップ レジメ」 「大庄《未来につなぐ》まちづくりワークショップの運営スケジュール」 資料1 「第1回大庄《未来につなぐ》まちづくりワークショップ 会議記録」 資料2 「大庄《未来につなぐ》まちづくりワークショップ参加者」 資料3 「大庄《未来につなぐ》まちづくりワークショップ事務局出席者」 資料4 「その他資料①～⑤」 「ファシリテーター研修資料」
内 容 ・協議事項 ・決定事項 ・連絡事項 など	<p>1 開会の挨拶 (所長挨拶後、事務局側人事異動職員の紹介、配布資料の確認、及びHP掲載についての確認) 市:議事録、配布資料、名簿を市のHPに掲載することに異議がないようなので、今後、HPに掲載する。</p> <p>2 まちづくりワークショップの議事内容、及び今後の進め方について 市:次回の公園部会ワークショップや施設部会ワークショップで議論できるよう、南ノロ公園の移転と体育館の建設の2点の論点について、本日ご意見を伺いたい。 (質疑なし)</p> <p>3 第1回ワークショップの振り返りについて 市:6月10日、6月11日、6月17日に市より社協代表者以外のワークショップメンバーに10年前の提言ができるまでの経過やまちづくりワークショップでどこから意見を言ったらいいのかなどについて事前説明し、一定理解いただけたものと思っている。 (質疑なし)</p> <p>4 現時点での旧大庄西中学校跡地の活用の考え方について (資料①～⑤を参考としながら要点説明) 市:10年前の提言については重く受け止めているため、提言を実現していきたい。平成21年時の提言から今日までの地域実情の変化や大庄おもしろ広場の活動状況、提言後に策定した市の計画や重点課題といった観点も踏まえ、大庄地区にとってより良い土地活用になるようにしていきたい。 (公園について) 市:南ノロ公園の機能が担保できるよう、規模を大きくし利用しやすい形状として約10,000㎡を確保する。おもしろ広場が担ってきた子供の居場所、中高生の遊び場、多世代交流などは実現させていきたいと考えており、フェンス付きグラウンドの実現も可能となる広さになるが、硬式野球、ヤギの飼育、畑の管理、バーベキューなどについては新しい公園での継続は難しい。また、生涯学習プラザと連携することで地域のイベントや多世代交流の場、災害時の一時避難地としても活用できる。なお、新しい公園が大庄西中跡地にできた後、南ノロ公園については、廃止する際の課題解決を図るとともに、良好な住宅開発用地としても活用していきたい。 (仮称)健康ふれあい体育館について) 市:地域の多くの高齢者が利用できる施設にしてほしい、子供の居場所や中高生の遊び場を実現してほしいという平成21年の提言を踏まえ、千代木園にある老人福祉センターの機能を付加させた(仮称)健康ふれあい体育館として地域にある公共施設の集約建替をしていきたい。千代木園の機能の付加については10年前の提言にはなかったが、その後に策定した公共施設マネジメント基本方針の取組みの一環として千代木園と地区体育館の2つの機能を継続させた(仮称)健康ふれあい体育館を整備していきたい。 (定住・転入促進について) 市:大庄西中学校の跡地の一部を民間による住宅開発用地とし、市の最重要課題であ</p>

るファミリー世帯の定住転入を促進し、大庄地区の賑わい創出に繋げていきたい。

以上、3つの活用と既に建設されている大庄北生涯学習プラザと特別養護老人ホームを合わせた5つの機能として新しい利用転換を図っていききたいというのが市の考え方であるが、あくまでも市の考え方であり決定したものではない。

参加者：資料では南ノロ公園のところは定住転入促進とされているが、いつになる予定か。

市：地域から公園が無くならないように、大庄西中学校の跡地に新しい公園ができてから南ノロ公園を廃止したいと考えている。現時点で何年かというものは決まっていない。

参加者：10年前の提言の際に、先に南ノロ公園を処分してからという話があったはずである。

市：10年前も大庄西中学校跡地に新しい公園を作ってから、地域から公園が無くならないようにその後に南ノロ公園を廃止することとしていた。しかし、南ノロ公園を廃止した後の活用に課題があったことから10年間進まなかったという状況である。今回改めて、庁内で協議をしており、課題解決を進めていきたいと考えている。

5 ワークショップ形式による各メンバーの意見について

(各テーブル1人5分ずつ発言後、各テーブルごとに意見を発表)

A テーブル発表意見

- ・体育館が複合化することで生涯学習プラザと同じような機能が備わることも想定されることから、例えば、ドローンの離発着ができるような、目玉となる要素があればいいのではないか。
- ・体育館と千代木園が複合化されるので、現在それぞれの施設を利用している人たちが継続してそのまま使えるようなかたちにしてほしい。
- ・公園の移転はいいが、利用しやすいように駐車場を立体化して整備できないか。
- ・スポーツのグラウンド機能を付加してほしい。
- ・公園と複合施設を大きい道路に面した部分に配置してほしい。
- ・公園も複合施設も一部の利用者が多く使う傾向があるので、独占状態にならないような施設にしてほしい。

B テーブル発表意見

- ・なぜ南ノロ公園の課題を解決できそうなのに10年もかかったのか。結局売れるのならばもっと早く進めることができたのではないか。
- ・市の考え方では定住・転入促進としているが、家が建っても、大庄自体の魅力がなければ定住しない。子育てに良い場所など魅力を上げる方が大事。
- ・大庄おもしろ広場の運営を市が10年間やらせていたにも関わらず、おもしろ広場の意見が何も反映されていない。10年間やってきた総括を聞きたい。
- ・ファシリテーター役として部会を実施するにあたって、どのような条件で話をしたらいいかわからない。おもしろ広場も議題に入れていいのかなど、前提条件を明確にしてほしい。
- ・体育館については、大庄武庫線沿いに配置するべき。
- ・体育館については、避難の際のことも考えて大庄北生涯学習プラザの近くに配置したらどうか。

C テーブル発表意見

- ・南ノロ公園が大庄西中へ移転するにあたり、基本的には平成21年度の提言をベースに整備してほしい。
- ・複合施設や住宅はいい。過去の提言内容を前提に実施してほしい。
- ・公園とは別に、使用用途を設定しないおもしろ広場のような地域の人が自由に使える

る場所がほしい。

- ・おもしろ広場を地域が 10 年程担ってきたという役割を大切にしてほしい。
- ・交通手段など立地的な不便さもあるので、複合施設などを持つてくる必要はないのではないか。
- ・平成 21 年度の提言時の内容が全体的に共有、周知されていないのではないか。

市 : 公園の移転については、A テーブルは賛成という意見であった。B テーブルはそのものに言及はなく、C テーブルは 21 年の提言を前提としてということなので、公園以外の用途もという意見もあったが、南ノロ公園移転そのものについては、大庄西中に持つてくることで異議はないということによいか。

参加者 : 反対意見ではなく、少しずれていると思うのが、21 年の提言の際に住民の為に大庄西中跡地を考えましょうと集まったのが提言を策定するための委員会である。21 年当時の大庄のまちの思いを知っているのか、という話である。24 年の藤原支部長の時に市に大庄のまちづくりについて要望書をだしている。25 年に市長から住民の意見を聞きながら進めるという回答ももらった。それにも関わらず、何の相談もなく、ふっと沸いてでてきたような市からの提案がでてきているのはおかしいのではないか。

市 : 次の部会では多様な地域の住民の方から意見をもらって取りまとめていく作業になる。みなさんの意見をいただき、地域の意見としてまとめていきたい。公園の移転は、提言のとおり行うことを前提に、部会で意見をもらうことになると思う。部会後の第 3 回のワークショップで皆様の意見を地域の意見としてまとめていく作業になる。体育館については、A テーブルではプラザと同じ施設ではなく、特徴的な施設にしてほしいという意見、B テーブルでは、大庄武庫線沿いの南側や生涯学習プラザの近くに作った方がよいという意見や、もともと必要なのかという意見も出ている。

参加者 : もともと必要なのかというよりもこのテーブルの参加者は地域に住んでいるのに大庄体育館や千代木園を利用したことがほとんどない。今の方の利用率はどうなのか。たくさんの方が知っているのか。使っているのか。複合施設を作っても利用されるのかという意見である。

市 : 体育館の機能については、年間の利用者数では 4 万人程度の方が利用している。一番多い武庫地区の体育館の平成 30 年度の利用率が 6 万 1 千人で、中央地区や立花地区とほぼ同数である。

市 : かなりの方が利用されていると思うが、利用されている施設によって世代間など違いはあるのかと思うが。

市 : 現在、地区体育館という位置づけになっているので、今のところ世代間交流という形ではなく、各曜日にそれぞれ利用している。そういう形を踏襲しながら、多様な方の利用を目指している。千代木園と複合化することを考えているが、加えて、多世代の方に利用してもらえることを目指していく。介護予防対策も付加させることなども考えている。千代木園の利用者では将棋等の活動もしているので、それを地域の子供に教えてあげることなども想定している。

参加者 : そのデータは延べ人数であり、実質の利用者数のデータが重要ではないか。

市 : 手元にデータがないので、確認して改めて回答する。

市 : 市としては、体育館の複合化を図ったうえで大庄西中跡地という考えだが、部会では、今日みなさんからもらった案も含めて意見をもらう。おもしろ広場の総括や、おもしろ広場についてファシリテーターとしてどこまで聞いていいのかという意見もあったが、次の部会は事前に 21 年度の提言を勉強されていない方も含め、基本的に自由意見になる。ファシリテーター役としては、公園部会や施設部会を踏まえ、みなさんが良いと思った意見、こんな視点があるのかという意見を地域の意見として 10 月の第 3 回ワークショップでまとめていく。

参加者 : 公園部会、施設部会はあくまで市が提案している体育館、住宅開発、を前提としたかたちでやるのか。それとも市の提案したものはなしでやるのか。体育館ありきで話をされたらどうしようもない。

市 : 市の考え方については、何も示さないとあまり意見が出てこないのではないか

と考えたもので、参加者が意見を出しやすいようなイメージとして示したものである。これを前提に進めるということではなく、最終的には地域の意見としてどういったまちづくりがいいかというところで意見を取りまとめていく。

参加者：配置イメージ案のような資料が市からでてくるということは、我々も同じ考えだと誘導されていることになる。市は戦略的もってきているように感じる。我々はこの資料をもって議論することで、体育館や住宅開発ありきに誘導されている。先ほどのデータの話もあったが体育館や千代木園は一部の方しか使っていない。そこをどうするかということでは、21年の提言にもう一度立ち返ったうえで、配置のイメージのない白紙の段階から考えるべきものである。

市：今日示したのは市の考え方であり、その配置のイメージを示した。次から公園部会や施設部会になるが、情報がワークショップの参加者より少ない方、単純に公園をこんなふうにしたいという方が集まり話し合う機会になる。ある程度決めておかないと公園部会に来る人が迷ってしまうと思ったが、今日のワークショップの意見を踏まえ、何もないなかで公園と体育館はつくるが、意見をくださいとした方がいいか、ファシリテーターである皆さんも迷う状態になるので、そこは今回ある程度決めてしまわないと部会に入るのは難しいと思う。

参加者：公園部会に入るにあたって、ワークショップメンバーがファシリテーターになる場合は、必ずおもしろ広場の話がでてくる。しかし、おもしろ広場の総括であったり、10年やってきてどうだったのか。そういうことを聞かないと公園部会に入るのは難しい。市からその説明はないのか。

市：ワークショップのスタートにあたって、おもしろ広場そのものの存続については、このワークショップの参加者から意見をもらってまとめるということはないと前回説明した。

参加者：存続するかしないかではなく、10年間市が任せてきたなかで、ここで打ち切る可能性が市の示した案のなかではある。そういったなか、おもしろ広場についてどうだったかという意見を聞かないと地域の人が集まっても、今後どうなるのかという問いに答えられない。意味があったのかなかったのか。そういうことを話してもらうべきである。

市：存続は議論しないが、総括であったり、おもしろ広場でやってきた活動をいかに繋いでいくか、何を伝えていくかという意見は提案してもらえれば良いと思う。部会でそのような話がでなかったとしてもワークショップに参加しているメンバーは今日もおもしろ広場についての発言を聞いているので、跡地の中でどういった活動をしていくかという意見を提案してもらったらいいと思う。

参加者：内容がわからなければ、次に繋げていく判断が難しい。

参加者：ファシリテーターをするなかで、大庄おもしろ広場が、なぜ管理するようになったのかという経緯をここにいる人は知らないはず。私はある程度知っているが、当時の社協が管理を断ったところを有志の方が引き受けて10年間やってきたという経緯や、どういう活動をしてきたかということも踏まえてファシリテーターをしないと、繋ぐにも繋ぎようがないと思う。総括もない状態で大丈夫か心配である。

参加者：体育館の配置が誘導されているという話からいうと、大庄支部としては地区内に大庄体育館を残してほしいという要望はしたが、旧大庄西中跡地に配置してほしいと要望した覚えはない。場所を提示してきているのは市の方なので、旧大庄西中跡地ありきでの資料をだされるとその考え方の枠内でしか話が進まず、誘導と取られても仕方ないと思う。ここ以外の場所という選択肢は市としてはあるのか。

市：体育館の建設場所は、資料で記載している敷地では2,000㎡程度必要と記載しているが、2,000㎡という敷地を大庄地区内で確保するとすると、可能性があるのは、旧大庄西中跡地、南ノ口公園、旧大庄支所跡地になる。しかし、旧大庄支所跡地については約2,000㎡の敷地しかなく、ほぼ正方形の形状になっているため、体育館というのは基本的に縦長になっていることから、建物が歪な形になってしまう。そういったことも勘案して、我々としては大庄西中跡地が建て易い敷地だと考えている。

参加者：建設ありきで話をするのではなく、部会の時には体育館等の記載のない図面を使って、南ノ口公園を住宅として売却し、旧大庄西中跡地に公園を移転するのでどんな公園がいいですか。ということでもいいのではないかと。旧大庄西中跡地にはおもしろい広場があった。それにこんな公園機能を加えたらどうかという意見もでてくると思う。そこに建物を先に入れてしまったら何にも言いようがない。完全に建物ありきで、ここに建物を建てるという意見しかでない。

市：イメージ図を示さない方が発言しやすいという意見があるがどうか。

市：体育館などの記載のない図面で部会をすることも可能であるが、施設部会に参加する方は、体育館をどこに配置するのかという話が当然出てくるし、公園部会も、施設がここに建つから公園はこうした方がいいという意見もいただけると思う。どこに配置するのかということを決め打ちする必要はないが、第2回のワークショップの中では、旧大庄西中に南ノ口公園を移転するというのと、体育館の建設地のこの2つの今日の議題を決めてはいないけれど何らかのかたちで示した方が、部会にスムーズに入れるのではないかと。

参加者：公園を旧大庄西中に持ってくる話はわかるが、大庄体育館を旧大庄西中跡地に持ってくるという話は今までにない。市から降って湧いたような話である。10年前の提言で大庄体育館をここに持ってくる話などあったか。

市：地区会館、体育館、支所、図書館等の地域にある施設を集約建替えるというのが10年前の提言である。

参加者：住民の方に提言に沿った話しを市は持ってきていない。公園の移転の話もしなしに体育館をつくりましょと、市から降って湧いたような話である。

市：10年前の提言の中で体育館を建替えると書いてある。体育館を建替えることは10年前の地域の方の意見だと思う。

参加者：大庄西中の跡地に大庄体育館をもってきてほしいという話はしていない。

市：これは大庄西中跡地の活用の提言である。

参加者：時系列がおかしくて、6行政区に地区体育館が1カ所ずつあるが、当時の市の方向性として、6地区に体育館がそのまま残るとは限らないという話だった。支所と地区会館については、複合化して6地区の一つずつ配置する、体育館については全地区に体育館が必要とは限らないので、そこは市としては別に考えるという話だった。だから、大庄としてはできたら残してほしいという要望は出したので、ここに入っている部分はある。ただ、大庄だけでなく、全地区、体育館を残す方向を市がもっているのなら、この話し自体は通じると思うが、今、小田や立花や武庫の生涯学習プラザで体育館を合築しているところはない。たまたま大庄はここに場所があって集約するから体育館という話を後でつけてきている。21年の提言の際には体育館を残してほしいと要望はした。市は体育館の話と支所と地区会館の複合の話とは別で動いていたはず。大庄地区は大庄体育館を大庄西中跡地に作ってほしいなんて言っていないというのはその部分である。たまたま大庄体育館と千代木園を複合化して持ってくるという話を市内部で整理していきなりだからどういう話なのかとなる。なので、この配置イメージ図をだされると大庄体育館がこの場所ありきで進んでしまうのでやめてほしいということになる。ファシリテーターとして我々は責任を取れない。

市：体育館などの配置イメージのない白紙の資料をもとに部会に入るべき、また、おもしろい広場についても活動の総括など説明の場が必要ではないかという意見でいいか。

市：体育館の建替え場所については、市有地のなかで法的な制限や土地の形状の制限などを踏まえると大庄西中の跡地であればいくつかのパターンもあるし土地の形状も自由度がある。それ以外の大庄地区の敷地については、体育館の敷地は約2,000㎡必要なため建てることのできないところもあり、市として大庄西中跡地以外に選択肢をあまりもっていない。ただ、みなさんの意見のなかで大庄西中跡地への配置が市の誘導ということになればそれを意見として施設部会のなかでもらうのは可能かと思う。ただ、法的な制限等については事務局から説明させていただく。

参加者：大庄体育館を建てられるのが大庄西中跡地しかないというなら10年前にお互い

に話し合っただけで決まっているはずで、なぜ今年の10月にいきなり市報に載せたのか。それ以前に10数年かけてお互いに跡地についてどうするか話し合ったのではない。売れますよといいながら放っておいて今年の10月に何の説明もなしに市報にいきなり体育館のタウンミーティングを載せるというこんな失礼なことではない。住民をないがしろにしている。

市 : ワークショップの意見としては体育館等のイメージのない白紙の図で部会を開催してほしい。ということとおもしろ広場についてもなんらかの形で示す必要があるという意見なので、市内部でも検討を行うということで進めたい。

参加者 : このまま続けるのならワークショップを降ろす。第1回のワークショップの基本的な考え方のなかで南ノ口公園の課題を解決することを前提にすると書いてある。それがワークショップを開くという前提。ということは嘘をついて開催しているということになる。

市 : このワークショップはみなさんの意見を取りまとめるもので、決して市が説明する場ではない。ただ、意見をもらうために市の意見を説明させてもらったものである。部会では体育館などのイメージのない白紙の図で部会を進めるべきという意見だと思うので事務局の方で検討してください。

参加者 : 第1回で意見があった南ノ口公園で体育館を建設することは不可能なのかという質問の回答がない。部会でそういった話がでた場合、それがあいなのか無しなのかで前提が全然違う。それと公園という言葉のイメージは色々な活動ができるという気持ちを持つかもしれないが、現実的には色々なことが禁止され、結局魅力のある公園ではなくなってしまおうという現実がある。その公園の広さを7,000㎡から10,000㎡にし、更に残りの土地を住宅地として売り飛ばすという状況をつくったら、色々な使い方をできるという前向きな気持ちをもって部会に参加する住民に対し、公園ではダメです、公園でなくてもいい、地域のみんが協力して力を合わせて、いざという時には防災にも役立つ、子どもたちが自由に動ける、特に若者たちが自分たちの可能性を広げるために、ここは色々なことができる場所だと若い人に繋げていきたい。そのための土地として話をすると、ここは公園。ここは体育館と言われたらどう考えても話は進まない。この2点を整理してほしい。

市 : 南ノ口公園に体育館をもってこれないのかという意見については、部会で意見としてだしてもらえばいいと思う。ただ、市は今回、10年前の提言を踏まえてと考えており、その提言には南ノ口公園に体育館という意見はなかった。基本的には南ノ口公園を移転させて公園にするということになっているので、市としては旧大庄西中学校に公園と体育館をつくっていくことが提言の実現になると考えている。

参加者 : 大庄体育館を廃止したらそこは売ることができる土地になる。南ノ口公園も売ることができる。そういった状況でどんどん売る場所を増やす状況のなかで、どうなのかと考えた場合、我々地域住民がどこまでできるのかという可能性を考えた時に優良な住宅になりますよといっても市民に納得してもらうのは難しい。そうやって市は提言にない体育館や住宅用地を持っておきながら、南ノ口公園を売るといふ意見を我々は変えられないのか。売らないで地域の為に体育館をあそこに作りますと言ったらできないのか。意見として伺うのではなく要求は満たされないのか。

市 : 本日はいただいた意見はしっかりと受け止めさせて頂く。みなさんの意見をとりまとめていくワークショップなので決して市の計画を押し付けるワークショップではない。それだけ理解いただけたらいいと思う。10月の第3回ワークショップでみなさんの意見としてどのようなまちづくりがいいのか。定住転入促進ではなく公園がいいのか、みなさんがどういったまちづくりがいいのか、第3回で意見をもらいたい。

6 ファシリテーター研修について

講師 : この状態でファシリテーター研修をしても意味がないと思う。体育館が大庄西

中跡地にできるかどうかという前提条件も揺らいでいる状況で、公園をどうしますかといっても茶番になってしまうので、時期が熟したときに研修を実施したい。研修をする時期は前提条件もわかった、よしここにいい公園を作ろうとなった時になる。そうしないと他の住民に不誠実な対応になってしまうと思う。

市 : 部会は開催するにあたって特に意見を縛るようなことはしない。部会は前提条件がわからない方の意見も否定するのではなく、全て地域の意見として受け取ってもらって、みなさんがその多様な意見を受けて第3回ワークショップでみなさんの意見として、発言してもらいたいと考えている。ファシリテーター研修についてはまたの機会を考えたい。

7 その他

市 : 8月30日、9月27日が部会ということになっており、8月の市報で部会について地域住民に参画いただけるようお知らせしていく予定である。ただ、先ほど議論があったように本日ファシリテーター研修ができていないので、少し、運営の仕方については、市内部でも話をしていかななくてはならないと考えている。整理しながら進めていけたらと思っている。市報についても一度考えたい。

市 : ファシリテーター研修は本日実施するのもどうかということなので本日は実施しないが、進め方については、部会を実施させていただいて皆様の意見として第3回にむけて意見をもらいたいと思う。このワークショップはみんなの意見をまとめる場なのでその中で、地域にとってより良いまちづくりに繋がるような意見をいただけたらと思う。本日は終了します。

以上